

	事業概要	QC サークル活動と成果	他の品質管理手法	品質分野での他ドナー支援
<b>民間企業</b>				
<b>SAP Olympique</b>	二輪用タイヤの製造・販売 (1974年～) 資本金：980 百万 FCFA 雇用数：150 名 (正規)、約 200 名 (季節労働者)	パイロット企業の一つ (1989 年～)。現在は 13QCC が活動。 活動例： チャンバー (air chamber) の欠陥率を半年間で 6.55%→3.56%に改善、年間 22 百万 FCFA の経費節減をもたらした。	1984 年に品質管理部門を設置。	2004 年～UEMOA の品質向上プログラム (ISO9001 所得) 対象企業
<b>SN-SOSUCO</b>	砂糖の製造 (1972 年～) 資本金：60 億 FCFA 雇用数：約 4500 名 (正規+季節労働者)、国内最大の民間企業  1998 年に民営化、Aga Khan 財団による企業コンソーシアム (IPS(WA)) に売却	1994 年～QCC 導入。現在 (2009 年) は 32QCC が活動。  QCC のための独自予算がある唯一の企業 (2009 年は経常:12 百万 FCFA、投資：4 百万 FCFA)	ISO9000 取得に向けた取り組みを開始。	EU/UNIDO/UEMOA の品質向上プログラム (ISO9000 取得) 対象企業 (取得による経済効果は 28 億 FCFA と推定)
<b>SOFITEX</b>	綿花生産・加工 (1979 年～) 資本金： 雇用数：1200 名 (正規)、3500 名 (季節労働者)  1999 年に一部民営化 (国 65%→35%)、2004 年に綿花セクターの自由化	1993 年 5 月以降 QCC を導入し、1000 人以上の職員が研修受講 (2003 年)。57 の QCC が活動 (2005 年)。 現 ABMAQ 代表は SOFITEX 品質管理責任者。	2004 年以降は ISO9001/2000 取得に向けた取り組みを開始。	
<b>Winner Industrie</b>	化学工業 (1973 年～)	1999 年～QCC 導入。現在 (2009 年) は、5QCC が活動。これまで 104 名が研修を受講。	5S	なし

<b>SODEPAL</b>	食品加工業（1978年～） 雇用数：約30名 ABMAQ非会員	QCCは導入していない	5S、TQM、HACCP等	UNIDO(1997年～)
<b>UCOBAM</b>	農産品生産・輸出業（1968年～） ABMAQ非会員	部分的に導入。		EU、イタリア（フェアトレード）
<b>公的機関</b>				
<b>SONABEL</b>	電力公社（1954年～） 雇用数：1452名	1992年以降段階的に導入。職員の3/4が研修を受講。2005年時点、6QCCが活動。	2008/09年～ISO取得に向けた活動開始予定	なし
<b>SONAPOST</b>	郵政公社 ABMAQ会員（2007年～）	導入を試みたが時間外勤務が受け入れられなかったため浸透せず	現在はISO取得に向けた取り組みを開始。品質向上に関するpolicy策定。	なし
<b>ONATEL</b>	通信公社	1995年以降導入。	現在はISO取得に向けた取り組みを実施中。	なし
<b>OST</b>	厚生省管轄下の労働者医療サービス機関として1986年設置。職員数約300名。	1998年以降導入。 現在は活動休止。		なし
<b>CNSS</b>	社会保障給付庫（1955年～） 雇用数：849名（正規）、64名（契約）	1992年以降導入。途中停滞したが、品質担当役員の交代により2008年より再活性化。現在は39のQCCが活動。	ISO9001取得を目指し、QCCをベースとしながら包括的な手法（TQM）への移行を開始。2009年には品質向上政策を策定。	なし